

令和3年度

公認スポーツ指導者等表彰
受賞者名簿



公益財団法人

日本スポーツ協会



超えて

挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPO

Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

OFFICIAL PARTNERS



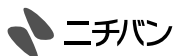
大塚製薬



三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

LOTTE

セレスポ



日本文化出版



時事通信

OFFICIAL SUPPLIERS



日本体育施設

PR TIMES



MIKASA

東武トップツアーズ



KEM
京都電子工業

目次

公認スポーツ指導者等表彰要項……………	2
---------------------	---

受賞者名簿

表彰の基準第1号 指導者……………	4
表彰の基準第1号 スポーツドクター……………	24
表彰の基準第5号……………	27

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰要項

1. 趣旨

永年にわたりスポーツ指導者として、スポーツの指導育成及び組織化、競技力の向上、公認スポーツ指導者制度の発展その他国民スポーツの振興に貢献した者のうち、特に顕著な功績があった者を表彰し、その功に報いるとともに、将来のスポーツ界を担う若手指導者の奨励を通じて、今後における公認スポーツ指導者制度の一層の発展に資する。

2. 表彰の基準

表彰の対象は、以下の各号の基準を満たす者とし、第1号から第4号までは公認スポーツ指導者とする。

(1) 永年表彰

公認スポーツ指導者資格登録認定後、通算15年以上にわたりスポーツの指導育成及び組織化等に尽力し、顕著な功績が認められ、原則として所属する中央・都道府県・市区町村の各競技団体若しくは都道府県・市区町村体育（スポーツ）協会、又は国・地方公共団体から表彰を受けた者。ただし、過去において本基準による表彰を受けたことがない者であること。

(2) 優秀選手育成賞

公認スポーツ指導者として、競技の普及や競技力の向上に尽力し、前年度に開催されたオリンピック競技大会、アジア競技大会又はこれに準じる国際大会において、優秀な成績をあげた選手を育成指導してきた者。ただし、過去において同一選手の成績に基づき本基準による表彰を受けたことがない者であること。

(3) 若手指導者奨励賞

受賞年度に満30歳以下の者のうち、今後、当該推薦団体において中心的な役割を担うことが期待される者。ただし、過去において本基準による表彰を受けたことがない者であること。

(4) 退任感謝状

おおむね15年以上にわたりスポーツの指導育成に貢献し、特に顕著な功績を残し退任した公認スポーツ指導者。

(5) 特別功労表彰

公認スポーツ指導者制度の確立及び発展などのために貢献し、顕著な功績があるとして本会が特に認めた者、並びに公認スポーツ指導者として特に模範となる功績を上げた者と本会が特に認めた者。

3. 候補者の推薦

候補者の推薦は、次の各号により行うものとする。

- (1) 前項第1号に定める候補者については、加盟都道府県体育（スポーツ）協会及び加盟中央競技団体が、別に定める様式により推薦を行うものとする。この場合、都道府県体育（スポーツ）協会については、前年度公認スポーツ指導者登録者数500名まで1名、以下500名までを越えるごとに1名を増やした人数を、中央競技団体については、1団体3名以内を推薦することができる。

- (2) 前項第2号および第3号に定める候補者については、加盟中央競技団体が別に定める様式により推薦を行うものとする。
- (3) 前項第4号に定める候補者については、加盟団体が特に必要と認めた場合に推薦を行うものとする。
- (4) 前項第5号に定める候補者については、本会が直接推薦を行うものとする。

4. 被表彰者の決定

被表彰者は、本会会長が指導者育成委員会の審査を経て、決定するものとする。
ただし、前項第4号については、加盟団体長にその審査を委任することができる。

5. 表彰の方法

表彰の基準第1号、第2号、第4号、第5号については、本会会長が表彰状又は感謝状を授与する。
表彰の基準第3号については、本会指導者育成委員会委員長が表彰状を授与する。

6. 附則

この要項は平成7年5月16日から施行する。

この要項は平成11年3月8日から施行する。

この要項は平成19年8月22日から施行する。

この要項は公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

この要項は平成27年9月24日から施行する。

この要項は平成30年4月1日から施行する。

この要項は令和元年6月21日から施行する。

公認 スポーツ指導者等表彰受賞者名簿

【表彰の基準 第1号】指導者 137名

公認スポーツ指導者として、資格認定後15年以上にわたり、スポーツの指導育成及び組織化などに尽力し、顕著な功績が認められた方。

●都道府県体育・スポーツ協会推薦

推薦団体：公益財団法人 北海道スポーツ協会

氏名	深澤 明子（ふかざわ あきこ）
資格名	弓道コーチ1
主な功績	永年にわたり、北海道弓道連盟南部地区の副会長、同連盟浦河地区の理事、副会長、会長をそれぞれ歴任し、組織の普及拡大に尽力した。浦河高等学校弓道部の外部指導者として生徒の競技力向上に大きな功績を残し、現在も会員の育成に携わり、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 岩手県体育協会

氏名	村上 亮（むらかみ あきら）
資格名	陸上競技コーチ4
主な功績	高等学校教員として、陸上競技の普及、競技力の向上に努め、全国高等学校総合体育大会等において活躍する選手を数多く輩出するなど、高校生の指導育成に尽力した。また、岩手陸上競技協会主催の競技会では、競技役員を務めるなど、組織の充実・発展にも大きく寄与しており、その功績は多大である。
氏名	千葉 正（ちば ただし）
資格名	バレーボールコーチ4
主な功績	指導者として、学生や地域住民への指導など地域に密着した活動を行っており、バレーボール競技の普及・発展、地域の活性化に貢献している。また、永年にわたり一関バレーボール協会の会長を務め、組織の充実・発展に大いに尽力するなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	上屋敷 利一（かみやしき としかず）
資格名	弓道コーチ1
主な功績	永年にわたり、高等学校弓道部のコーチとして指導し、全国大会で活躍する選手を多数輩出している。また、中学校で弓道の授業を行うなど弓道競技の普及・発展に大きく貢献している。第74回国民体育大会（茨城県）では成年男子監督を務め、近況競技優勝に導くなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	根田 光朗（ねだ みつろう）
資格名	ボウリングコーチ4
主な功績	永年にわたり、盛岡市ボウリング協会や岩手県ボウリング連盟の運営に携わり、競技指導委員長や国民体育大会の監督を務めるなど、競技の普及、競技力向上に大きく貢献した。卓越した指導手腕を発揮し、国民体育大会をはじめとする全国大会で優勝者を多数輩出するなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	菊次 幸吉（きくつぎ こうきち）
資格名	アーチェリーコーチ1
主な功績	永年にわたり、岩手県アーチェリー協会、盛岡市アーチェリー協会の役員を務め、アーチェリー競技の普及、組織の充実・発展に大いに尽力した。第71回国民体育大会（岩手県）では競技役員として、大会を成功に導くなど、現在も各種大会運営や指導者の育成に努めており、その功績は誠に顕著である。

氏名	植田 瑞穂 (うえた みずほ)
資格名	山岳コーチ2
主な功績	永年にわたり、岩手県山岳・スポーツクライミング協会の理事を務め、スポーツ行事の企画や運営を通じて、山岳・スポーツクライミング競技の普及に携わるなど、その功績は誠に顕著である。また、地域加盟団体との交流を深める取り組みなど、組織の充実・発展にも寄与しており、その功績は多大である。

推薦団体：公益財団法人 宮城県スポーツ協会

氏名	渡邊 雅司 (わたなべ まさし)
資格名	ボウリングコーチ3
主な功績	宮城県ボウリング連盟の副理事長、競技強化委員長として運営に携わる傍ら、宮城県スポーツ協会のジュニアトレーニングセンター事業に携わり、国民体育大会ボウリング競技では多くの少年男女選手を育て上げた。また、みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業ボウリング競技の実施責任者として活動しており、その功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 秋田県スポーツ協会

氏名	栄田 直宏 (さかえだ なおひろ)
資格名	バスケットコーチ4
主な功績	1993年から指導者の道を歩み、中学生を中心に、高校生、実業団女子チーム、秋田県成年男女チームと幅広く指導し、全国優勝にも導いた。また、2000年から2014年までは秋田県バスケットボール協会指導者育成委員長として、多くの講習会を企画・運営し、自らが講師として県内全域において指導者を養成した功績は誠に顕著である。
氏名	戸島 義夫 (としま よしお)
資格名	アスレティックトレーナー
主な功績	1997年の秋田県トレーナー協議会立ち上げと同時に同会長に就任し、20年以上にわたり、県内全域でスポーツ医学講習会を開催してきた。また、バスケットボール競技成年男子チームのトレーナーとして、日ごろの練習からチームをサポートしており、第72回国民体育大会(愛媛県)から第74回国民体育大会(茨城県)での3連覇に貢献した功績は大きい。

推薦団体：公益財団法人 山形県スポーツ協会

氏名	石井 環 (いしい たまき)
資格名	スケートコーチ3
主な功績	1997年に山形県スケート連盟の理事に就任後、ジュニア担当として主に中学生から高校生までのジュニア選手の強化練習・合宿に帯同し、強化育成および普及活動に取り組んだ。また、2005年からは山形県スケート連盟の事務局長、2020年からは日本スケート連盟スピード部委員会のアドバイザーに就任し、東北各県連盟及び中央競技団体との連携を密にし、競技力向上および普及推進などスケート競技の発展に尽力している。
氏名	田中 愛久 (たなか あいひさ)
資格名	水泳コーチ1
主な功績	1980年から酒田市内小学校の水泳授業の指導を努め、2011年から2018年まで山形県水泳連盟の競技委員長として県内水泳競技の振興に貢献した。さらに、酒田水泳連盟の事務局長、理事長、副会長を歴任し、2021年度からは会長として地域の水泳普及および水泳連盟の組織強化に尽力してきた功績は誠に顕著である。
氏名	長岡 均 (ながおか ひとし)
資格名	ソフトテニスコーチ1、ジュニアスポーツ指導員、アシスタントマネージャー
主な功績	就職後一貫して山辺ソフトテニススポーツ少年団の指導者を務め、数多くの児童の指導にあたった。山形県小学生ソフトテニス連盟の設立に関与し、設立後は会計担当理事を長く務め、2019年に会長に就任し、県内の小学生のソフトテニス普及に貢献している。また、山辺町スポーツ少年団の運営に協力し、さらには地域の仲間と山辺の里スポーツクラブの設立に尽力し、現在も運営に関与するなど、地域のスポーツ振興に寄与している。

氏名	佐藤 祥子 (さとう さちこ)
資格名	ソフトボールコーチ1
主な功績	1992年飽海地区ソフトボール協会入会以来、永年にわたり理事・常任理事として、特に登録係として現在も貢献している。2008年10月開催の第7回全日本エルデストソフトボール大会には選手としても出場した。指導面でも手腕を発揮し活躍した他、2008年からは山形県ソフトボール協会理事、普及委員会副委員長を務め率先して普及活動にも力を入れている。2018年からは山形県ソフトボール協会記録副委員長として活躍するなど、その貢献は多大である。
氏名	伊藤 吉樹 (いとう よしき)
資格名	山岳コーチ2マスター
主な功績	山形県高等学校教員に採用後すぐに登山部顧問として生徒の育成指導にあたり、1999年から今日まで山形県山岳連盟役員として指導委員長、理事長、会長を歴任し、海外登山にあつては2001年に中国チベットの未踏峰ヤラシャンボ登山隊の隊長を務めるなど、その貢献度は高く県内登山愛好者の代表として、安全登山や保全活動に関する功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 茨城県スポーツ協会

氏名	小松崎 一郎 (こまつざき いちろう)
資格名	剣道コーチ1、ジュニアスポーツ指導員
主な功績	自費で茨城菁莪館道場を設立し、鉾田地区の青少年の健全育成をはじめ、近隣地域の剣道普及振興に尽力している。また、茨城県剣道連盟の評議員、茨城県スポーツ少年団の常任委員として、地域におけるスポーツ少年団認定員講習会の講師を務め、スポーツ少年団活動、剣道競技の発展に寄与し、多大な尽力とその功績は誠に顕著である。
氏名	高柳 幾臣 (たかやなぎ いくとみ)
資格名	ゲートボールコーチ1
主な功績	1983年以降日本ゲートボール問題検討委員会開催委員、日本ゲートボール法人設立準備委員会委員、日本ゲートボール連合設立発起人会委員、全国ゲートボール統ルール作成委員などを歴任し、日本ゲートボールの草創期を支えた功績は顕著である。また、地域の連合会設立に尽力するとともに、ゲートボールの普及発展に大きく寄与した。

推薦団体：公益財団法人 栃木県スポーツ協会

氏名	小林 昭次 (こばやし しょうじ)
資格名	テニスコーチ2
主な功績	永年にわたり、栃木市のスポーツ振興に携わり、主にテニス競技の普及を中心に活動し、その活動は誠に顕著である。現在も栃木県スポーツ指導者協議会の理事として研修会の運営や、地域のスポーツ振興に貢献している。

推薦団体：公益財団法人 群馬県スポーツ協会

氏名	干川 多賀幸 (ほしかわ たかゆき)
資格名	スケートコーチ3
主な功績	永年にわたり、ジュニア強化に携わり、小中高一貫トレーニングの基盤を作った。全国中学校スケート大会でも多くの優勝者、入賞者を輩出し、後のオリンピック、ワールドカップ、国民体育大会等の大会での活躍に繋がった。国民体育大会の監督も務め、優勝者を多数輩出した。現在は、群馬県スケート連盟事務局長とともに、日本スケート連盟スピード委員として活躍している。
氏名	樋口 伸二 (ひぐち しんじ)
資格名	ボクシングコーチ3
主な功績	群馬県立板倉高校、太田東高校、伊勢崎工業高校においてボクシングのコーチを務め、国民体育大会等の全国大会優勝者、上位入賞者を輩出した。現在は、伊勢崎工業高校において、地域の青少年を対象にボクシング教室を開催し、ボクシングの普及発展に尽力している。また、群馬県ボクシング連盟副理事長として、連盟の円滑な運営に積極的に携わり、連盟の発展に大きく貢献しており、その功績は誠に顕著である。

氏名	吉沢 雅美 (よしざわ まさみ)
資格名	ソフトボールコーチ3
主な功績	2011年から現在まで群馬県ソフトボール協会常務理事、2020年から同協会強化委員長も務めている。また、2017年には第6回アジア男子ジュニアソフトボール選手権大会優勝にヘッドコーチとして貢献した。1995年から現在まで中学生・高校生を指導、県大会・関東大会・全国大会で実績を残すなど多くのソフトボール選手の育成に尽力した功績は誠に顕著である。
氏名	安齋 義宏 (あんざい よしひろ)
資格名	空手道コーチ3
主な功績	1989年から高等学校空手道部顧問、2005年からはさらに大学空手道部の監督としても指導を行い、現在まで高等学校全国優勝者、大学東日本大会3位など数多くの優秀選手を輩出した。2003年から2008年まで国民体育大会空手道競技監督として貢献した。現在も群馬県スポーツ協会マネジメントコーチも務めるなど、群馬県の競技力向上への功績は顕著である。
氏名	杉原 良依 (すぎはら よしえ)
資格名	エアロビックコーチ4
主な功績	エアロビックコーチ4として永年、競技クラスの指導に携わる。全日本総合エアロビック選手権大会では2007年のユース部門3位から14年連続でメダルを獲得した。2010年からSKJ所属の選手が日本代表として国際大会に出場し、2016年大会日本男子初優勝、2018大会で男女ともにシングルスで優勝、そしてワールドゲームズでシニアトリオ日本初の金メダル獲得にも貢献するなど、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 埼玉県スポーツ協会

氏名	關 直樹 (せき なおき)
資格名	ソフトテニスコーチ3
主な功績	永年にわたり、スポーツ指導者として高等学校でソフトテニスの指導に尽力した。2019年には埼玉県の国民体育大会少年男子監督として8位入賞を修め、埼玉県のソフトテニスの充実・発展に尽力した功績は顕著である。
氏名	川崎 キエ (かわさき きえ)
資格名	卓球コーチ1
主な功績	永年にわたり、所沢市において卓球の指導に当たる。自らも「所沢レディース」に所属し、全国大会にも数多く出場した。また、埼玉県のレディース部の役員を20年以上務め、レディース部の振興に尽力し、2009年度から2019年度まで埼玉県卓球協会スポーツ指導者協議部役員として埼玉県の指導者研修会の運営に携わり、後継者の育成にも力を注ぐ等、その功績は顕著である。
氏名	鴨下 則幸 (かました のりゆき)
資格名	バレーボールコーチ2
主な功績	地域社会人男女バレーボールチーム代表として技術指導およびチーム運営、さいたま市中学校外部指導員として中学生女子バレーボール部活動指導、埼玉県内の各市町村バレーボール審判講習会講師として6人制・9人制・ママさんバレーボールのルール解説と審判技術指導に尽力した。
氏名	吉田 奈津美 (よしだ なつみ)
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	2001年から小学生の指導に携わり、指導者資格を取得後は本格的に指導者としての活動を行う。北本市スポーツ少年団では指導者養成講習会の講師として尽力した。その他、埼玉県バレーボール指導者協議会の事務協力、家庭婦人バレーチームの一員として、チームの助言等を行うなど、バレーボールの普及への功績は顕著である。
氏名	伊藤 志誠 (いとう しせい)
資格名	スポーツプログラマー
主な功績	永年にわたり、埼玉県スポーツプログラマー協議会の理事として、各種研修事業をはじめ、協議会の充実・発展に尽力した功績は顕著である。2019年度からは埼玉県スポーツプログラマー協議会の事務局長として、協議会の更なる充実・発展に尽力している。

氏名	嶋根 祐一 (しまね ゆういち)
資格名	陸上競技コーチ4
主な功績	1991年埼玉栄高等学校陸上部監督に就任、2019年まで29年連続で全国高等学校総合体育大会出場を果たし、2009年にはトラック優勝、総合2位という素晴らしい成績を取めた。全国高等学校総合体育大会、国民体育大会等で活躍する選手を多数輩出するなど、埼玉県内の強豪校として埼玉の陸上界をリードしている功績は誠に顕著である。
氏名	磯 繁雄 (いそ しげお)
資格名	陸上競技コーチ4
主な功績	早稲田大学スポーツ科学部教授として専門の陸上競技で、オリンピック、パラリンピック、世界陸上、パラ世界陸上、ユニバーシアードなどの大会に出場した選手を育成している。パラ世界陸上、ユニバーシアード大会では入賞者も多数輩出しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	加藤 章治 (かとう しょうじ)
資格名	バレーボールコーチ1、ジュニアスポーツ指導員
主な功績	スポーツ少年団、中学校の外部指導者、家庭婦人チームの監督として活躍し、2008年に結成した小・中学生のクラブチームを、翌2009年の第12回全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会出場に導いた。2012年にはU-19クラブを結成し、同年に第15回全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会出場、2部で優勝し、翌2013年の同大会で準優勝に導いた。現在も高校生の地域クラブチームにて技術指導およびバレーボールの発展と育成に全力を捧げている。

推薦団体：公益財団法人 千葉県スポーツ協会

氏名	日暮 利幸 (ひぐらし としゆき)
資格名	ソフトボールコーチ3
主な功績	永年にわたり、高等学校においてソフトボールの指導を行い、監督として全国優勝および国民体育大会少年男子1位を複数回獲得するなど本県のソフトボールの競技力向上に貢献してきた。また、千葉県ソフトボール協会理事として組織の充実・発展にも努めており、その功績は多大なものである。
氏名	相田 光康 (あいだ みつやす)
資格名	フェンシングコーチ3、スポーツプログラマー、アシスタントマネジャー
主な功績	永年にわたり、フェンシングの指導を行い、国民体育大会のコーチ・ヘッドコーチとして千葉県チームの競技力向上に貢献してきた。さらに、千葉県フェンシング協会理事長、市川市スポーツ協会理事長としても組織の充実・発展に貢献しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	松波 誠 (まつなみ まこと)
資格名	空手道コーチ4 マスター
主な功績	永年にわたり、地域において空手道の指導を行い、スポーツ振興および青少年の健全育成に尽力している。また、千葉県空手道連盟、柏市空手道連盟の役員として組織の拡充および後進の指導者育成に努め千葉県の空手道の普及・発展に貢献しており、その功績は多大なものである。
氏名	千葉 澄子 (ちば すみこ)
資格名	なぎなたコーチ1
主な功績	永年にわたり、地域においてなぎなたの技術指導を行い、なぎなたの普及・発展に努めるとともに青少年の健全育成に尽力している。また、佐倉市なぎなた連盟が発足して以来、永く組織の充実・発展に尽力するなど地域のスポーツ振興に貢献しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	高橋 茂雄 (たかはし しげお)
資格名	剣道コーチ1
主な功績	永年にわたり、地域において剣道の指導者として剣道の普及・発展に努めている。また、市川市剣道連盟の理事長および会長、ならびに千葉県剣道連盟の評議員および理事としてそれぞれの組織の充実・発展に尽力するとともに、スポーツ振興に貢献しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	児玉 泰平 (こだま たいへい)
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	永年にわたり、地域のバレーボール家庭婦人部の組織活性化や小学生対象の市民スポーツ教室を開催するなどスポーツ推進に貢献している。また、千葉県社会人バレーボール連盟副会長、市川市バレーボール協会会長としてバレーボールの普及に尽力しており、その功績は誠に顕著である。

氏名	藤平 和男 (ふじひら かずお)
資格名	卓球コーチ3
主な功績	永年にわたり、高等学校の卓球部監督として全国高等学校総合体育大会出場や国民体育大会の監督も務めるなど千葉県内の競技力向上に貢献してきた。また、茂原市内での卓球教室において、幅広い世代を対象に指導し、卓球の普及・発展に尽力しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	魚路 恭子 (うおじ きょうこ)
資格名	卓球コーチ2
主な功績	永年にわたり、市原市卓球協会理事として組織の充実および大会運営に尽力している。また、広く地域における卓球指導を続け、特に地域唯一の小中学生中心のクラブチームの指導者として選手育成に努めるなど地域スポーツの発展に貢献しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	岩館 進 (いわたて すすむ)
資格名	ソフトテニスコーチ1
主な功績	永年にわたり、成田市ソフトテニス連盟の理事、副理事長として組織の充実・発展に尽力してきた。また、市内において中学校の部活動の外部指導や中学生対象の教室などソフトテニスの技術指導を通して青少年の健全育成およびスポーツ推進に寄与しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	前田 佳也 (まえだ よしや)
資格名	陸上競技コーチ1、スポーツプログラマー、アシスタントマネジャー、クラブマネジャー
主な功績	永年にわたり、君津市スポーツ推進委員として生涯スポーツの普及に尽力している。また、総合型地域スポーツクラブ「小糸レインボークラブ」を立ち上げ、クラブマネジャーとして運営に携わるなど地域においてスポーツ機会の充実に貢献しており、その功績は多大なものである。

推薦団体：公益財団法人 東京都体育協会

氏名	土橋 武雄 (どばし たけお)
資格名	馬術コーチ3
主な功績	永年にわたり、立教大学馬術部の監督として学生の指導を行うとともに、少年少女乗馬教室を開催し、都民体育大会では、選手に馬匹を提供するなどの地域スポーツ活性化を行っている。また、日本馬術連盟障害馬術本部の副本部長として日本の馬術競技強化に尽力している。その功績は誠に顕著である。
氏名	富岡 成一 (とみおか しげかず)
資格名	卓球コーチ3
主な功績	調布市卓球連盟副会長、日本肢体不自由者卓球協会副会長を務め、過去には駒沢大学卓球部総監督、リオデジャネイロ2016パラリンピック競技大会日本代表監督を務めた。また地元・調布市では30年以上にわたりスポーツ少年団のコーチを務め、青少年の育成にも尽力している。その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 神奈川県スポーツ協会

氏名	鈴木 孝雄 (すずき たかお)
資格名	ソフトテニスコーチ2マスター
主な功績	神奈川県ソフトテニス連盟および川崎市ソフトテニス連盟の役員として永年にわたり同連盟の運営に携わり、ソフトテニスの競技力向上と指導普及に尽力した。特に、神奈川県ソフトテニス連盟の理事長、指導委員長を歴任していた際には県代表選手の指導および公認指導者を多数育成した功績は顕著である。
氏名	岸田 晃 (きしだ あきら)
資格名	卓球コーチ1
主な功績	中学校の教員として卓球部を指導し全国中学校卓球大会団体の部に計11回出場するなど多くの選手を育成した。第62回国民体育大会(秋田県)では成年女子の監督として指導し、3位入賞をはたした。岸田卓球クラブの代表として永年にわたり小学生を指導し、指導した選手が2019年の世界ジュニア卓球選手権で優勝するなど、その功績は誠に顕著である。

氏名	小沢 浩一（おざわ こういち）
資格名	水泳上級教師、水泳コーチ4マスター
主な功績	神奈川県スイミングクラブにおいて37年間にわたって水泳普及に携わり、2010年から神奈川県水泳連盟理事およびジュニア委員会副委員長として競泳の強化育成に貢献してきた。また、2015年からオープンウォータースイミング委員会委員長に就任し、国民体育大会選手の発掘と育成に尽力しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	鈴木 利夫（すずき としお）
資格名	ソフトボールコーチ1
主な功績	1989年から永年にわたりソフトボール指導に貢献した。神奈川県高等学校体育連盟専門部ソフトボール専門委員（1990年から2017年）、同専門部委員長（2009年から2010年）、全国高等学校専門部常務理事（2011年から2017年）、神奈川県ソフトボール協会副理事長・指導者委員会担当理事（2004年以降）を歴任しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	利根川 勇（とねがわ いさむ）
資格名	ソフトボールコーチ4
主な功績	1974年から1991年まで神奈川県立平塚商業高等学校、1991年から2009年まで神奈川県立厚木商業高等学校のソフトボール部監督として永年にわたり高等学校ソフトボールの強化育成に貢献した。2004年から神奈川県ソフトボール協会常務理事・選手強化委員としてソフトボール指導・育成普及に尽力しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	中丸 忠男（なかまる ただお）
資格名	山岳コーチ2
主な功績	永年にわたり、神奈川県山岳連盟の理事を務め、第53回国民体育大会（神奈川県）では設営部部長を務めるなど神奈川県山岳連盟の組織運営に貢献した。また、神奈川県山岳連盟および日本山岳・スポーツクライミング協会の遭難対策委員として講習会、研修会、啓発活動等を通じて、安全登山の普及と減遭難のための講習会、研修会、啓発活動等で指導に取り組んでおり、その功績は誠に顕著である。
氏名	青山 義弘（あおやま よしひろ）
資格名	セーリングコーチ3、ジュニアスポーツ指導員
主な功績	2003年から葉山町ヨットスクールの総監督として活動を始め、現在に至るまで全国大会等で活躍する選手を多く育成し、同町のスポーツ振興に寄与した。また、日本代表ユースチームの監督を歴任するなど、幅広く指導を行っている。現在は、葉山町セーリング協会常任理事、日本セーリング連盟ジュニア・ユースアカデミー委員会副委員長等を務めている。この功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 山梨県スポーツ協会

氏名	餌取 一成（えとり かずなり）
資格名	剣道コーチ1、スポーツプログラマー
主な功績	第32回全国スポーツ少年団剣道交流大会（徳島県）の監督や南都留スポーツ少年団連絡協議会本部長を務め、剣道競技を始めとしたスポーツ少年団の普及強化に尽力したほか、剣道コーチ1やスポーツプログラマーとして、地域のスポーツ少年団における指導も行っている。山梨県スポーツ指導者協議会南都留支部では理事を永年務め、地域におけるスポーツ振興の功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 長野県スポーツ協会

氏名	百瀬 貴（ももせ たかし）
資格名	陸上競技コーチ3、アシスタントマネジャー
主な功績	永年にわたり、陸上競技の指導者として高校生を中心に競技者を育成している。1982年から1998年にかけて長野陸上競技協会普及強化委員会コーチとしても多数の競技者を指導した。現在に至るまで、日本ジュニア陸上競技選手権、国民体育大会ならびに全国高等学校体育大会などの全国大会で数多くの競技者を入賞させるなど、指導実績を積み上げており、その功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 富山県体育協会

氏名	森谷 正敏（もりや まさとし）
資格名	ライフル射撃コーチ3
主な功績	1993年の第48回国民体育大会（東四国）においてスモールボア・ライフル膝射20発競技で優勝、同伏射60発競技で2位入賞する等、選手としても活躍した。1994年に公認ライフル射撃C級コーチ（現ライフル射撃コーチ3）の認定を受けてからは、永年にわたり、富山県所属選手の指導に携わり、多くの選手を国民体育大会入賞に導く等、公認スポーツ指導者としての功績は誠に顕著である。
氏名	中林 勝信（なかばやし かつのぶ）
資格名	ゲートボールコーチ1
主な功績	永年にわたり、富山県ゲートボール協会の組織運営に携わってきた。2014年からは同協会の理事長として協会運営に携わるとともに、審判員資格試験の試験委員・審査委員として中核的役割を果たし、審判員育成に尽力してきた功績は誠に顕著である。
氏名	河口 智洋（かわぐち ともひろ）
資格名	ボートコーチ4
主な功績	永年にわたり、富山県ボート協会の組織運営ならびに強化事業に携わってきた。1993年以降同協会の理事・常任理事を歴任し、2019年度からは理事長として運営の中核を担っている。また国民体育大会では監督として数多くの優勝・入賞をするなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	林 美樹（はやし みき）
資格名	新体操コーチ3
主な功績	永年にわたり、富山県体操協会の組織運営ならびに強化事業に携わってきた。また、1998年から現在まで同協会の理事を務め、1997年に新体操コーチ3を取得し、県内新体操指導者のリーダーとして尽力してきた。さらに、ジュニア層の強化に指導者としての手腕を発揮し、全国大会で入賞するなどその功績は誠に顕著である。
氏名	米原 江理（よねはら えり）
資格名	エアロビックコーチ1
主な功績	永年にわたり、富山県内のスポーツクラブ等でエアロビックの普及発展および競技力強化に積極的に取り組むとともに、富山県エアロビック連盟の役員を務め組織強化に貢献した功績は誠に顕著である。また、地域の施設や小中学生への指導や競技選手の育成指導に携わり、競技の発展に尽力した。
氏名	金川 円（かながわ まどか）
資格名	セーリングコーチ1
主な功績	永年にわたり、富山県セーリング連盟の理事、射水市(新湊市)ヨット協会の理事として、各団体の運営に尽力した。また、コーチとして、多くの選手へ海上指導や陸上での生活指導を行い、選手強化および各団体の発展のためにその責務を果たした。これらの功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 石川県体育協会

氏名	櫻井 外郷（さくらい がいごう）
資格名	スキーコーチ3
主な功績	永年にわたり、石川県スキー連盟の理事を務め、特にアルペン競技選手の技術指導に携わり石川県出身のオリンピック出場選手や、現在ワールドカップ出場選手の育成に尽力すると共に全日本スキー連盟の強化および技術運営委員も務め、その功績は誠に顕著である。
氏名	吉田 吉信（よしだ よしのぶ）
資格名	ソフトボールコーチ2
主な功績	1987年から永年にわたり、地域クラブチームで監督・コーチとしてソフトボール競技の普及・強化に尽力してきた。また、2010年から石川県ソフトボール協会副理事長として、さらには2016年から4年間は指導者委員長も兼任し、協会運営の中心的な職務を担うとともに、指導者の育成にも携わり、その功績は誠に顕著である。

氏名	桶谷 千鶴子（おけたに ちずこ）
資格名	バドミントンコーチ1
主な功績	永年にわたり、石川県バドミントン協会をはじめ、社会人、レディース、ジュニアの各連盟の役職を歴任し、県バドミントンの発展に貢献、尽力している。全日本大会で優勝、全国で活躍する選手を育てるなど、県バドミントン全体の選手の育成、強化、普及、指導者育成に携わり、その功績は誠に顕著である。現在も競技者として、周りの模範となっている。
氏名	遠水 健一（とおみず けんいち）
資格名	ラグビーフットボールコーチ1、ジュニアスポーツ指導員
主な功績	学生時代からスポーツ少年団指導者としてジュニア期のスポーツの指導や、ラグビーフットボールの普及発展に努める。また、永年ジュニアスポーツ指導員として、スポーツ少年団指導者講習会において「スポーツ少年団の意義」等の講師を務める。金沢市スポーツ少年団本部の総務委員長兼副本部長として、金沢市スポーツ少年団の運営に尽力しており、その功績は顕著である。
氏名	宇波 和彦（うなみ かずひこ）
資格名	剣道コーチ1
主な功績	石川県剣道連盟理事、専務理事を務め、剣道の普及振興に尽力している。また、強化委員長として全国大会で通用する選手の育成のため小学生から一般までの選手強化・指導者の育成に取り組んでおり、その功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 福井県スポーツ協会

氏名	佐々木 佐百合（ささき さゆり）
資格名	陸上競技コーチ3
主な功績	永年にわたり、高等学校陸上部顧問として少年選手の育成に尽力してきた。また、永年福井県スポーツ指導者協議会の理事として県内の公認スポーツ指導者資格保有者に対して有益なスポーツ関係情報の発信や研修の計画に携わってきた。2021年からは、福井陸上競技協会の理事として組織運営や普及・発展にも携わり、その功績は誠に顕著である。
氏名	相模 敏之（さがみ としゆき）
資格名	ライフル射撃コーチ3、バイアスロンコーチ3
主な功績	2012年から地元のチームライフルクラブで小中学生を対象に指導を行っている。第70回から74回まで国民体育大会ではライフル射撃競技監督として出場し、選手の強化に尽力している。また、これまでに福井県ライフル射撃協会の選手強化部長を務めたほか、現在も副理事長として県内のライフル射撃競技の組織運営や普及、発展にも携わり、その功績は誠に顕著である。
氏名	玉井 康弘（たまい やすひろ）
資格名	ラグビーフットボールコーチ1
主な功績	永年にわたり、高校生から成年選手を対象にラグビーフットボールの技術指導を行い、選手の育成に尽力してきた。また、これまでに福井県ラグビーフットボール協会の理事、副理事長、理事長を歴任し、現在も副会長として県内のラグビーフットボール競技の組織運営や普及、発展にも携わり、その功績は誠に顕著である。
氏名	松谷 春男（まつたに はるお）
資格名	空手道コーチ3
主な功績	第45回国民体育大会（福岡県）および第50回国民体育大会（福島県）においていずれも女子監督として出場し、その経験を活かして福井県内の小学生から社会人までの幅広い世代を対象に指導を行い選手の育成に尽力してきた。また、永年福井県空手道連盟の事務局長および理事を務め、県内の空手道競技の組織運営や普及、発展にも携わり、その功績は誠に顕著である。
氏名	山口 明（やまぐち あきら）
資格名	ボートコーチ3
主な功績	永年にわたり、高等学校ボート部顧問として少年選手の強化を行っている。第67回から第74回国民体育大会ではボート競技少年男子監督として出場し、選手育成に尽力している。また、永年福井県ボート協会常任理事として県内のボート競技の組織運営や普及、発展にも携わり、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 静岡県スポーツ協会

氏名	中川 啓子（なかがわ けいこ）
資格名	ソフトテニスコーチ1
主な功績	1990年にC級スポーツ指導員（現ソフトテニスコーチ1）資格を取得し、2004年から現在まで、三島ソフトテニス協会主催のソフトテニス教室のコーチとして、小学生から主婦層まで幅広い指導に尽力し、地域スポーツの普及および競技力向上に成果を上げた。また、永年にわたり三島ソフトテニス協会、静岡県ソフトテニス連盟の役員を務め組織強化に携わり、その功績は誠に顕著である。
氏名	杉山 勉（すぎやま つとむ）
資格名	水泳コーチ2マスター、水泳上級教師
主な功績	永年にわたり、静岡県水泳連盟の運営に携わり、水泳コーチ2マスター資格を保有している。2009年から8年間、同連盟普及委員長として地域指導者の養成に力を注ぎ、2017年から副理事長を務め、2020年には日本水泳連盟有功章を受賞するなど、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 愛知県スポーツ協会

氏名	榊原 学（さかきばら まなぶ）
資格名	弓道コーチ1
主な功績	1987年から県立高等学校弓道部の指導を通し、半田市および愛知県弓道の競技力向上に大きな功績を残した。また、2004年からは愛知県弓道連盟の理事や国民体育大会の監督を務め同大会少年の部の優勝・入賞のために尽力するなど、若手育成などに手腕を発揮した。永年にわたり愛知県のスポーツ普及・振興に寄与した功績は多大である。
氏名	浅野 静雄（あさの しずお）
資格名	ボウリングコーチ1
主な功績	1995年に津島市ボウリング連盟が結成され、その組織の立ち上げに中心的な役割を担い、その後、副会長兼事務局長として組織の充実、発展に貢献。2011年には津島ボウリングスポーツ少年団の発足に尽力し団長に就任した。また津島市体育協会の役職を歴任すると共に、スポーツボウリングの指導者として、永年にわたり、津島市でのボウリング行事の運営に携わる功績は誠に顕著である。
氏名	鈴木 勝美（すずき かつみ）
資格名	バドミントンコーチ1
主な功績	1971年から愛知県バドミントン協会の役職を歴任し、2021年から同協会の顧問を務めるほか、日本実業団バドミントン連盟の役職を30年以上務めた。1998年にバドミントンコーチ1資格を取得し、愛知県体育館スポーツ教室協会主催「女性バドミントン教室」の講師を2007年から現在まで継続して担当している。また、永年にわたり愛知県バドミントン協会の発展に尽力した。その功績は誠に顕著である。
氏名	近藤 克幸（こんどう かつゆき）
資格名	柔道コーチ3
主な功績	1995年から2007年の間、愛知県柔道連盟強化委員として活躍。特に2002年には第57回国民体育大会（高知県）柔道競技少年女子監督として準優勝に導いた。また、2012年より日本オリンピック委員会柔道マネジメントスタッフ、2016年から2018年の間、全日本柔道連盟審判委員会委員として全日本レベルの活躍をしている。1990年から現在にいたるまで地道で精力的な高校部活動指導にも尽力し、その功績は多大である。

推薦団体：公益財団法人 三重県スポーツ協会

氏名	田口 隆 (たぐち たかし)
資格名	ハンドボールコーチ4マスター
主な功績	ハンドボール日本代表男子チームのアシスタントコーチを務めながら、本田技研工業ハンドボール部の監督としてチームを導き、第53回国民体育大会(神奈川県)では優勝を果たした。その後、日本代表男子チームの監督に就任し、現在は日本ハンドボール協会専務理事兼強化部長を務め、日本代表チームを支えている。また、大学のハンドボール部の指導にも携わり、ハンドボール界に大きく貢献している。その功績は誠に顕著である。
氏名	片山 昭三 (かたやま しょうぞう)
資格名	ボクシングコーチ3
主な功績	1973年に三重県高等学校体育連盟ボクシング専門部を立ち上げ、1985年から2015年までの間、三重県ボクシング連盟理事長として永年務める。また久居農林高校ボクシング部の指導者としても数々の結果を残すなど活躍した功績は誠に顕著である。
氏名	内村 秀一 (うちむら ひでかず)
資格名	柔道コーチ3
主な功績	三重県柔道協会の役員を歴任し、組織運営に尽力している。また、指導者として各種大会に出場する選手の指導、育成に取り組み、地域においては少年柔道教室の指導に尽力している。その功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 岐阜県スポーツ協会

氏名	戸田 敬一郎 (とだ けいいちろう)
資格名	バドミントンコーチ1
主な功績	2002年にバドミントンコーチ1を取得し、関市立緑ヶ丘中学校のコーチに就任するとともに、美濃中学校ジュニアバドミントンクラブの指導者として中学生の指導を行う一方、岐阜県バドミントン協会審判委員長、日本バドミントン協会公認審判員資格審査認定委員として国内における審判員の資質向上に多大な貢献をした。
氏名	前田 英典 (まえだ ひでのり)
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	岐阜県バレーボール協会の役員として永年、協会運営に携わってきた。特に岐阜県で開催された実業団の全国大会では岐阜県バレーボール協会の役員として計画・準備・運営を行い成功に導いた。また、ソフトバレーボールの発展普及のため、岐阜県ソフトバレーボール連盟を設立し、ソフトバレーボールの競技会を積極的に行い、幅広い年齢層で競技できる選手および指導者の育成・普及に貢献している。その功績は誠に顕著である。
氏名	後藤 毅 (ごとう たけし)
資格名	ラグビーフットボールコーチ3
主な功績	岐阜県ラグビーフットボール協会の理事を務め、1999年から県内のラグビー強化に携わり第67回国民体育大会(岐阜県)にて上位入賞に貢献し、現在も県内のラグビー強化、普及に努めている。近年はまだ知名度が低い女子ラグビーの普及育成に努めるなど、その功績は顕著である。
氏名	吉村 茂之 (よしむら しげゆき)
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	岐阜県バレーボール協会の役員として永年、競技会運営に携わってきた。特に毎年開催されるVリーグの開催では、支部のリーダーとして計画・準備・運営を行い成功に導いている。また、東濃地域を中心に、学生のバレーボール教室を積極的に行い、学生や社会人で活躍する選手及び指導者の育成・普及に貢献している。その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 大阪府スポーツ協会

氏名	木村 美司 (きむら よしじ)
資格名	テニスコーチ1
主な功績	永年にわたり、大阪府高槻市、北大阪や兵庫県尼崎市において地域のテニス競技の普及活動としてテニス教室の指導員および大会の運営に尽力し、1997年から大阪府テニス協会の要職を歴任した。大阪府下のテニス普及・発展に寄与し、2017年からは監事に就任し活躍しており、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 兵庫県体育協会

氏名	恩地 幸子 (おんじ さちこ)
資格名	卓球コーチ1
主な功績	1997年から現在まで、神戸市レディース卓球連盟の幹事として、永年にわたり組織運営など積極的に活動した。2001年からは地域における卓球指導をジュニア、シニア問わず携わり、技術向上に熱心に取り組んでいる活動は顕著である。
氏名	久保田 章 (くぼた あきら)
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	1977年に加古川市バレーボール協会理事長に就任、2013年からは兵庫県バレーボール協会常任理事を務め、バレーボールの普及・指導に尽力した。加古川市のバレーボールチームの強化を行い、クラブチーム「達磨会」が1999年から複数回全日本9人制バレーボールクラブカップにて全国大会出場、シニアチーム「加古川達磨会」が2010年から複数回日本スポーツマスターズに出場などの実績を収めているなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	島田 隆宏 (しまだ たかひろ)
資格名	ウエイトリフティングコーチ3
主な功績	高等学校教諭として部活動を通し、全国高等学校総合体育大会の入賞選手も多く輩出した。1994年から兵庫県ウエイトリフティング協会理事、1998年から兵庫県高等学校体育連盟部会副委員長を務め、2000年からはジュニア教室を立ち上げ現在も選手育成に努めている。2014年から日本ウエイトリフティング協会理事に就任し、リオデジャネイロ2016オリンピック競技大会・東京2020オリンピック競技大会の審判員として派遣され競技の普及・発展に尽力し、その貢献は顕著であるなどその功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 岡山県スポーツ協会

氏名	三木 恵子 (みき けいこ)
資格名	水泳コーチ1
主な功績	永年にわたり、地域の水泳指導者の育成および水泳競技の普及・振興に携わってきた。現在、岡山県水泳連盟競技委員会委員として競技力向上、競技会運営に尽力しており、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益社団法人 広島県スポーツ協会

氏名	後藤 美智恵 (ごとう みちえ)
資格名	なぎなたコーチ3
主な功績	永年にわたり、地域のスポーツ少年団活動や広島県の強化練習などを通して、国民体育大会選手や指導者を多く育ててきた。また、広島市なぎなた連盟結成に尽力し、事務局長、理事長を歴任し、なぎなたの普及発展に寄与した。常に自己研鑽に励み、なぎなたに情熱を注ぎ、労を惜しまない実直な人柄で多くの人から慕われている。中学校武道必修化での指導やコーチ1養成にも尽力し、現在も普及発展、後進の育成を続けており、その功績は誠に顕著である。
氏名	妹尾 幸治 (せお ゆきはる)
資格名	テニスコーチ3、アシスタントマネージャー
主な功績	永年にわたり、広島県テニス協会の理事、東広島市テニス協会の理事長を務め、大会運営や環境整備等テニス競技の普及振興に尽力している。また、特に近年は広島県テニス協会の普及委員長として、広島県に硬式テニスを広めるため、各地域での初心者テニス教室・指導者の育成などに力を注ぎ、その功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 山口県体育協会

氏名	谷村 太知 (たにむら たいち)
資格名	水泳コーチ3、水泳教師
主な功績	永年にわたり、山口県水泳連盟の評議員、理事を務め、組織運営に尽力した。特に競技副委員長としてマスターズ大会・障害者大会等、大会運営に中心的な役割を担っている。また、萩市水泳連盟の理事も務め、地域の組織運営および子ども達への水泳指導に携わり、山口県水泳競技の普及・振興に尽力した功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 香川県スポーツ協会

氏名	溝渕 昭七 (みぞぶち しょうしち)
資格名	ゲートボールコーチ1
主な功績	2002年からゲートボールコーチ1として、高松市内の小学校4年生から6年生を対象にゲートボールの指導に当たるなど、永年ゲートボールの普及に努めている。また、高松市ゲートボール協会において、2007年から事務局長、2014年からは競技部長として組織の運営に携わっており、その功績は誠に顕著である。
氏名	香川 隆子 (かがわ たかこ)
資格名	なぎなたコーチ2
主な功績	1996年からなぎなた指導員として三豊市スポーツ少年団の指導にあたり、現在は、コーチ2の資格により指導を継続している。また、三豊市スポーツ少年団の副会長として幅広く活動するとともに、香川県なぎなた連盟のジュニア強化の指導により競技力の向上に努めるなど、永年にわたりなぎなた競技の普及発展に貢献し、組織の運営全般に尽力している。
氏名	伊禮 淳 (いれい あつし)
資格名	ウエイトリフティングコーチ3、スポーツプログラマー
主な功績	1991年4月に選手兼指導者として香川県に赴任し、香川県ウエイトリフティング協会の理事として永年にわたり競技の普及および発展に尽力している。選手としてはバルセロナ1992オリンピック競技大会代表としてウエイトリフティング競技(男子52キロ級)にて第9位を収めた。その実績を礎に成年選手の監督として選手強化およびジュニア選手の発掘と育成に幅広くその手腕を発揮している。また、社会人選手の確保や競技役員の育成など、その功績は誠に顕著である。
氏名	綱井 みちる (つない みちる)
資格名	スケートコーチ3、スケート教師
主な功績	1990年に香川県に戻り、インストラクターとして香川、岡山を中心に中四国地方において数多くのスケート選手を育成してきた。その教え子達は国民体育大会や全日本大会に出場し、インストラクターや日本スケート連盟の審判員として活躍している者もいる。日本フィギュアスケートインストラクター協会においても2017年からディレクターズスタッフ(役員)として活躍中で、スケート競技における功績は誠に顕著である。
氏名	安藤 恵子 (あんどう けいこ)
資格名	カヌーコーチ3
主な功績	1993年開催の第48回国民体育大会(徳島県・香川県)開催前、1988年に設立された高瀬高等学校カヌー部において、初代顧問として生徒を育成・強化し、全国高等学校総合体育大会や国民体育大会で数多くの優勝者・入賞者を輩出した。また、アジア大会・世界選手権でも日本カヌー連盟のコーチを務めるなど、カヌー競技の発展、香川県カヌー協会の育成における功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 徳島県スポーツ協会

氏名	高橋 一巳 (たかはし かずみ)
資格名	空手道コーチ4
主な功績	永年にわたり、徳島県空手道連盟の役員として運営に携わり、組織を飛躍的に向上させた功績は特筆すべきものがある。また、その豊富な経験と誠実な人柄をもって、後進の指導と育成にあたりるとともに、他の者からの人望も厚く、同連盟の模範となっている。
氏名	島富 義之 (しまとみ よしゆき)
資格名	卓球コーチ4
主な功績	永年にわたり、徳島県卓球協会の理事を務め、高校時代は選手として活躍し、また大学卒業後、教員となり数々の高等学校卓球部の顧問として選手の指導・育成に尽力した。今後も協会の核として一層の活躍を期待されており、その功績は誠に顕著である。
氏名	後藤田 健一 (ごとうだ けんいち)
資格名	水泳コーチ4
主な功績	永年にわたり、徳島県水泳連盟の常務理事を務め、競技力向上委員会の委員長として強化を担当し、全国大会入賞選手を多数排出してきた。また一方で指導者育成にも力を注ぎ、その教え子達も、現在では徳島県水泳連盟の中核をなすところである。その功績は誠に顕著である。

氏名	田中 久美 (たなか くみ)
資格名	弓道コーチ1、ジュニアスポーツ指導員、コーチングアシスタント、アシスタントマネジャー
主な功績	永年にわたり、高等学校の体育教諭として、また、高等学校弓道部の指導者として活躍した。2015年から県内高等学校弓道の責任者である徳島県高等学校体育連盟弓道専門部の委員長として、また、2022年に徳島県で開催される全国高等学校総合体育大会弓道競技開催の責任者としての重責を担っている。現在、徳島県弓道連盟の常任理事として運営に多大な貢献をしており、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 愛媛県スポーツ協会

氏名	松野 敏雄 (まつの としお)
資格名	バレーボールコーチ3
主な功績	愛媛県立高等学校の教諭として永年にわたり、バレーボールの競技力向上に努め、全国レベルの大会で活躍する選手を数多く輩出するなど、高校生の指導育成に尽力した。また、愛媛県バレーボール協会副会長に就任し、組織の発展充実に寄与した。日本バレーボール協会公認講師も務め、卓越した識見と経験をもとに指導者の養成に尽力している。
氏名	渡部 求 (わたなべ もとむ)
資格名	陸上競技コーチ3
主な功績	永年にわたり、高等学校運動部活動における陸上競技の指導者として活躍、全国大会入賞者を多数育成した。愛媛陸上競技協会理事にも就任し組織活動の充実に尽力している。第72回国民体育大会(愛媛県)では陸上競技監督として、強化事業の充実と競技力向上に多大な成果をあげた。
氏名	戸田 明男 (とだ あきお)
資格名	卓球コーチ3
主な功績	永年にわたり、高等学校運動部活動における卓球競技の指導者として選手の育成強化に取り組むとともに、愛媛県卓球協会の理事として組織運営の充実強化を図ったほか、愛媛県での全国大会を成功に導くなど、その功績は誠に顕著である。指導活動においては、青少年の指導を通して卓球競技の普及、振興に多大な成果を上げており、今後一層の活躍が期待される。
氏名	安野 道和 (やすの みちかず)
資格名	アーチェリーコーチ1
主な功績	永年にわたり、愛媛県アーチェリー協会の理事を務め、小中学生の育成、選手の強化などアーチェリー競技の普及と発展に尽力されている。第72回国民体育大会(愛媛県)においては、今治市実行委員会競技式典専門委員としてアーチェリー競技会の運営に携わり、その功績は誠に顕著である。
氏名	須山 浩光 (すやま ひろみつ)
資格名	水泳コーチ2 マスター
主な功績	永年にわたり、スポーツ指導者や競技役員として、地域の水泳競技の指導に貢献している。愛媛県水泳連盟評議員や愛媛県マスターズ水泳協会副会長に就任し、「日本マスターズ水泳短水路大会(愛媛会場)」や「坊っちゃんマドンナ水泳記録会」等の水泳大会の企画・運営に実績を上げている。また、水泳コーチ1にかかる養成講習会の指導者としてスポーツ指導者の育成に携わるなど、水泳競技の普及と発展に尽力している。
氏名	須川 卓二 (すがわ たくじ)
資格名	バドミントンコーチ1
主な功績	永年にわたり、バドミントンの指導者として活躍し、愛媛県バドミントン協会理事に就任し協会の組織の充実・発展に多大の貢献をしている。また地域において青少年の指導と新居浜市バドミントン協会会長として、バドミントンの普及と発展に尽力している。

推薦団体：公益財団法人 福岡県スポーツ協会

氏名	泉 満夫 (いずみ みつお)
資格名	テニスコーチ 2
主な功績	1976年に大野城市体育協会のテニス競技において地区の代表役員に就任し、同協会の指導員としてもテニス競技の指導にあたった。1985年には大野城市のテニス競技理事に就任し、競技力向上に寄与した。1995年に開催されたユニバーシアード福岡大会ではテニス競技の報道副班長に任命され、競技役員として大会の成功に大きく貢献した。現在も指導者として精力的に活動しており、今後の活躍も期待される。
氏名	草野 潔 (くさの きよし)
資格名	ラグビーフットボールコーチ 2
主な功績	1987年に福岡市の少年ラグビーチームで小中学生を中心に指導を開始した。公認資格を取得後は競技指導のみならず、福岡市のラグビー協会にて競技の普及振興活動に取り組んだ。2007年には福岡県ラグビーフットボール協会の理事に就任し同県全体の競技力向上に大変尽力した。2016年にはNPO法人タグフェスタルを設立し指導者としても講師としても活躍しており、今後も活躍が期待される。
氏名	畠中 光市 (はたなか こういち)
資格名	バレーボールコーチ 1
主な功績	1993年から福岡県クラブバレーボール連盟の副理事長・副会長を兼任し、バレーボールの普及に寄与した。2011年から福岡県バレーボール協会の競技副委員長として、クラブバレーボールチーム、実業団等への指導を行い、現在も競技力向上や普及振興に尽力している。また、福岡県スポーツ指導者協議会の幹事、現在は副会長として、県内スポーツ指導者の資質向上に大きく貢献しており、今後も活躍が期待される。
氏名	土橋 博志 (つちはし ひろし)
資格名	テニス上級教師マスター、テニスコーチ 4 マスター
主な功績	1976年から指導者としてジュニアから中高年まで幅広い世代に対しての指導を開始した。1996年には福岡県テニス協会ジュニア委員会委員として強化指導を担当し、競技力向上に取り組んでいる。2001年から福岡県テニス協会、2009年には九州テニス協会常務理事に就任し、組織強化、普及振興に寄与した。また、養成講習会講師等を務め、指導者養成、育成に貢献しており、今後も活躍が期待される。
氏名	高橋 正郎 (たかはし まさろう)
資格名	バレーボールコーチ 1
主な功績	1999年から高等専門学校でバレーボールの指導を始め、競技力向上、人材の育成に取り組んだ。また、2009年から福岡県バレーボール協会の理事、2015年からは久留米市バレーボール協会の理事として競技の発展、普及振興に大きく貢献している。監督としても全国高等専門学校体育大会バレーボール競技女子の部では、第51回、52回、53回で全国3連覇を果たしており、今後も活躍が期待される。
氏名	大庭 広行 (おおば ひろゆき)
資格名	パワーリフティングコーチ 1、ウエイトリフティングコーチ 3
主な功績	1980年に高等学校の部活動で技術指導を開始し、選手育成に永きにわたって尽力した。また、1988年から福岡県ウエイトリフティング協会の理事に就任し、現在も県内の競技力向上、組織作りに努めている。また国際審判資格保有者でもあり、審判実績だけにとどまらず、県内の選手強化、審判員の資質向上にも大きく貢献しており、今後も活躍が期待される。
氏名	大原 壽矢子 (おおはら すやこ)
資格名	弓道コーチ 1
主な功績	1999年から福岡県弓道連盟にて女子の部強化指導委員として選手育成、競技力向上に尽力した。また、2001年に北九州市弓道連盟理事に就任し、その後副会長を歴任し、現在は会長として、競技の普及、振興活動、組織強化に取り組んでいる。その大きな功績が評価され、様々な団体から功労者として表彰も受けており、今後も活躍が期待される。
氏名	吉田 清孝 (よしだ きよたか)
資格名	水泳コーチ 3
主な功績	1985年に福岡県高等学校体育連盟水泳強化委員として指導を開始し、第45回国民体育大会(福岡県)では水泳競技福岡県選手団の強化コーチとして福岡県の躍進に大きく貢献した。また、福岡県水泳連盟、北九州市水泳協会では、理事、副会長として選手育成のみならず、競技推進事業や普及活動等にも携わっており、今後も活躍が期待される。

推薦団体：公益財団法人 佐賀県スポーツ協会

氏名	大島 安博（おおしま やすひろ）
資格名	ソフトテニスコーチ3
主な功績	永年にわたり、高等学校でソフトテニスの指導に携わり、自らの赴任先の高等学校では九州大会、全国大会で優秀な成績を取めるなど多くの人材を輩出し、佐賀県高等学校男子の技術向上に大きく貢献している。また、2003年から2019年までは連盟役員として大会運営マニュアルを確立し、大会運営の組織化にも大きく寄与するなどソフトテニスの発展に多大なる貢献をし、その功績は誠に顕著である。
氏名	兵動 信博（ひょうどう のぶひろ）
資格名	柔道コーチ1
主な功績	佐賀市大和町地区で41年間、少年柔道の指導に携わり、また、佐賀県下の小中学生を集めた柔道の恩師の名前から取った相良輝行杯大会では、会長として企画運営の中心になって20年間開催し、柔道の普及・発展に貢献した。2004年からは佐賀市柔道協会副会長として、2010年からは佐賀県柔道協会柔道整復師会代表理事として、組織運営にも熱心に携わり、柔道の発展に大きく貢献し、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 長崎県スポーツ協会

氏名	久保田 恒憲（くぼた つねのり）
資格名	空手道コーチ1、ジュニアスポーツ指導員
主な功績	長崎県壱岐市空手道連盟の理事長、会長を務め、永年にわたり空手道競技の普及・発展に寄与してきた。壱岐市において空手道連盟および空手道クラブを設立し、スポーツ少年団に加入するなど地域における指導や、青少年の育成に貢献しており、今後も更なる活躍が期待される。
氏名	沖田 彰生（おきた あきお）
資格名	ホッケーコーチ3
主な功績	長崎県ホッケー協会の理事長、佐世保市ホッケー協会の理事長、会長を務め、永年にわたり、ホッケー競技の普及・発展に寄与してきた。国民体育大会においても、選手・指導者として関わり、長崎県のホッケー競技の競技力向上に貢献した。
氏名	中島 憲一（なかしま けんいち）
資格名	陸上競技コーチ4
主な功績	長崎陸上競技協会の理事を務め、陸上競技の普及・発展に寄与してきた。その他、強化部長、審判部長、指導者・育成担当部長を務め、国民体育大会においても、選手・監督コーチとして永年携わっており、長崎県の陸上競技の競技力向上に貢献した。
氏名	下岸 安彦（しもぎし やすひこ）
資格名	ソフトテニスコーチ1
主な功績	長崎県ソフトテニス連盟評議員、島原市ソフトテニス連盟理事長を務め、ソフトテニス競技の普及・発展に寄与してきた。地域における指導においても、中学校の外部指導員、初心者教室の指導などを行った。2014年の第69回国民体育大会（長崎県）では、島原市実行委員会事務局次長として、大会の成功に貢献した。

推薦団体：公益財団法人 大分県スポーツ協会

氏名	諸田 義信 (もろた よしのぶ)
資格名	陸上競技コーチ 2
主な功績	1992年から大分市陸上教室 (大分中央陸上)、また2014年からは総合型地域スポーツクラブ判田すこやか倶楽部の指導者として永年地域の陸上競技の普及に尽力している。また、大分陸上競技協会の理事を務め、競技団体の運営に携わるなどその功績は誠に顕著である。
氏名	近藤 直樹 (こんどう なおき)
資格名	水泳コーチ 1
主な功績	1991年から旧西国東郡 (真玉町・香々地町・大田村)、豊後高田市の水泳部長兼監督として選手の競技力向上を図るとともに、永年地域での水泳競技の普及にも携わっている。また自身も豊後高田市代表の水泳選手として県民体育大会に出場するなどその功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 宮崎県スポーツ協会

氏名	佐藤 伊織 (さとう いおり)
資格名	空手道コーチ 4
主な功績	宮崎県空手道連盟組織においては選手強化部長、審判部長を歴任し、永年にわたり宮崎県空手道の普及・発展に大きく寄与した。指導者としては国民体育大会や全日本選手権大会での入賞者をはじめ、多数の全国大会出場選手を育成するなど、宮崎県の空手道における競技力向上に貢献しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	河野 多美子 (かわの たみこ)
資格名	陸上競技コーチ 1
主な功績	延岡ジュニアアスリートでの指導をはじめ、延岡地区小中学生競技者への指導を長く務め、宮崎県の陸上競技の競技力向上に貢献した。2004年には宮崎陸上競技協会功労賞、2010年には日本陸上競技連盟安藤百福記念章 (少年少女指導者表彰) を受賞し、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 鹿児島県スポーツ協会

氏名	吉田 修 (よしだ おさむ)
資格名	陸上競技コーチ 1、ジュニアスポーツ指導員
主な功績	永年にわたり、ジュニアの育成・指導に誠実・献身的に尽力し、その功績はきわめて顕著で数々の栄章に輝いている。陸上競技のジュニアの普及・育成の成果は、鹿児島陸上競技協会の振興・発展に大きく貢献するものであり、その功績は誠に顕著である。
氏名	山内 孝雄 (やまうち たかお)
資格名	ホッケーコーチ 4
主な功績	永年にわたり、ホッケー競技の指導に熱心に取り組み、国民体育大会・全国高等学校総合体育大会・全国高等学校ホッケー選抜大会で通算、準優勝 5 回、3 位 3 回、5 位 6 回の成績を収めている。現在もホッケー指導で指導者育成・選手強化に尽力している。鹿児島県ホッケー協会の運営にも携わり、その功績は顕著である。
氏名	重富 英樹 (しげとみ ひでき)
資格名	弓道コーチ 2
主な功績	1994年に鹿児島大学からその誠実な人柄を評価され弓道部のコーチに就任して以来、情熱を傾けて指導に当たり、2007年九州学生選手権大会優勝、全日本学生弓道王座決定戦出場、2015年第27回全国大学弓道選抜大会4位入賞という成果を挙げるなど学生の指導に手腕を発揮するとともに、鹿児島県弓道連盟主催の大会、講習会等の運営に積極的に協力するなど弓道の振興、発展に多大な貢献をしている。
氏名	小田 勝美 (おだ かつみ)
資格名	銃剣道コーチ 1
主な功績	自衛官勤務の間、選手・教官としての技能・指導力をもって鹿児島県銃剣道連盟の選手指導部長として成年少年の競技力向上に努め、同連盟の国民体育大会選手の数多くの入賞の功績を収めた。また、同連盟役員として連盟の事業活動の中心となり各種大会・行事の済々とした運営を図り、その他全国大会・九州大会の審判員として活躍するなど、その功績は顕著である。

はしる、とぶ、あろう、その先へ。

未来を担う子どもたちの健全な育成に、
スポーツは大きな貢献ができると思っています。
からだを動かすたのしさは、健康なからだを作り、
他者との関わりやルールへの学びは、社会性を育み、
達成のよろこびは努力の大切さを教えてくれます。
わたしたちは、スポーツに親しむ子どもたちが未来を創る
担い手になっていくまでの道のりを支え、あらゆる世代が
スポーツに親しめる社会の実現を目指しています。

スポーツと、望む未来へ。



JSPPO

Japan Sport Association

OFFICIAL PARTNERS

asics

大塚製薬

mizuno

三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

LOTTE

セレスポ

ニチバン

日本文化出版

図書印刷

時事通信

OFFICIAL SUPPLIERS

JAL

CARUN
キャラバンジャパン



日本体育施設

PRTIMES

西鉄旅行

Mikasa

東武トップツアーズ

JTB

sanwa

KEM
京都電子工業

●中央競技団体推薦

推薦団体：公益社団法人 日本ホッケー協会

氏名	鈴木 金良 (すずき かねよし)
資格名	ホッケーコーチ 3
主な功績	永年にわたり、中学校の指導者として選手育成に貢献してきた。日本代表選手を多数育成し、東京2020オリンピック競技大会にも男子3名、女子2名が選出されている。2004年から2005年にはU16男子日本代表監督も務めている。滋賀県ホッケー協会では理事長も務め組織運営も担い、協会発展に貢献し、その功績は顕著である。
氏名	福田 敏 (ふくだ さとし)
資格名	ホッケーコーチ 4
主な功績	永年にわたり、高等学校の指導者として選手育成に貢献してきた。日本代表選手を多数育成し、東京2020オリンピック競技大会にも男子1名が選出されている。U18、U16男子日本代表スタッフとしてトップ選手育成にも貢献している。また、栃木県ホッケー協会では副理事長も務めており、組織運営も担い協会発展に貢献し、その功績は顕著である。
氏名	平尾 豊 (ひらお ゆたか)
資格名	ホッケーコーチ 4
主な功績	永年にわたり、中学校の指導者として選手育成に貢献してきた。一方、ホッケー A級審判員また技術委員長としても活躍し、日本の審判員の育成ならびにホッケー指導者に対するルール指導を行ってきた。特に、公認コーチ3養成講習会においては永年にわたり、講師として指導者養成に貢献してきた。現在は日本ホッケー協会技術委員長として協会運営に携わり、その功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 全日本柔道連盟

氏名	渡辺 涼子 (わたなべ りょうこ)
資格名	柔道コーチ 3
主な功績	全日本柔道連盟強化委員会委員を務め、2016年からは副委員長を務めている。石川県柔道連盟においても理事を務め、国民体育大会成年女子石川県チームの監督も務めた実績がある。所属である金沢学院大学で女子選手を指導している傍ら、全日本女子柔道チームを2008年から指導をしている。現在に至るまで国内にとどまらず海外で活躍する選手を育てた。永年にわたる柔道指導の功績は顕著である。

推薦団体：公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会

氏名	榊田 靖憲 (ますだ やすのり)
資格名	山岳コーチ 3
主な功績	福井県山岳連盟で永年、指導委員会と遭難対策委員会の両方の委員会に所属し、指導者の育成と安全登山活動を行っている。1994年に山岳指導者の資格を取得して、2000年から同連盟指導委員長に就任した。現在もジュニア対象の岩登り、沢登りから指導者育成まで行い、現在は同連盟の理事長を務めている。
氏名	米倉 得雄 (よねくら とくお)
資格名	山岳コーチ 2
主な功績	島根県山岳連盟で登山技術を習得し、1995年に山岳指導者の資格を所得する。2001年から遭難対策委員長になり地域における安全登山指導および各種講習会の講師を務め、2010年には、指導委員長に就任し現在も続けている。1982年には競技役員として第37回国民体育大会（島根県）へ参加し、2016年からは島根県安全登山研修会の運営役員としても活躍している。

推薦団体：公益社団法人 日本カーリング協会

氏名	成澤 正明 (なりさわ まさあき)
資格名	カーリングコーチ 2
主な功績	1982年の稚内カーリング協会発足以来、事務局長として協会運営に携わり、現在は理事長として同協会発展に尽力している。北海道カーリング協会の設立後は、1984年から同協会の指導普及委員として全道各地へ出向いて指導を行ってきたほか、2014年からは、日本カーリング協会指導普及委員、北海道カーリング協会理事および指導普及委員長として活動するなど、永年にわたりカーリング競技の普及に貢献しており、その功績は顕著である。
氏名	藤村 和人 (ふじむら かずと)
資格名	カーリングコーチ 2
主な功績	2002年から青森県カーリング協会の理事としてカーリングの普及に尽力しているほか、2004年から現在に至るまで、永年にわたってジュニアチームの指導にあたり、国内および国際大会で好成績に導くとともに、全国で活躍する優秀な選手を育成してきた。また、青森県カーリング協会が行うカーリング指導普及事業にも講師として積極的に協力し、カーリング競技者の増加と技術力の向上に貢献しており、その功績は顕著である。
氏名	土屋 美喜子 (つちや みきこ)
資格名	カーリングコーチ 2
主な功績	2006年から2012年まで、長野県カーリング協会副理事長および日本カーリング協会理事として活動し、カーリング競技の発展に寄与した。2008年から総合型地域スポーツクラブ認定NPO法人あさまハイランドスポーツクラブ(カーリングホールみよた)の理事長として、2007年からジュニア育成、2010年からカーリング少年団の指導にあたるなど、カーリング競技の普及とジュニア選手の育成に貢献しており、その功績は顕著である。

推薦団体：公益社団法人 日本エアロビック連盟

氏名	石田 里美 (いしだ さとみ)
資格名	エアロビックコーチ 2
主な功績	永年にわたり、静岡県内のエアロビック普及の中核的な役割を果たしており、三島市エアロビック連盟の創設にも寄与した。現在は同市連盟の会長として青少年から高齢者まで幅広くエアロビックの指導に尽力している。特に更正施設でのエアロビック指導に積極的に携わり、その功績は顕著である。
氏名	高岡 綾子 (たかおか あやこ)
資格名	エアロビックコーチ 2 マスター
主な功績	鹿児島県エアロビック連盟の理事長として、永きにわたり鹿児島県内のエアロビック普及の中心的な役割を担っている。同時に日本エアロビック連盟の学校体育普及委員会委員として全国の教員を対象とするエアロビックの指導にも尽力しており、その功績は顕著である。

【表彰の基準 第1号】スポーツドクター 19名

公認スポーツドクターとして、資格認定後15年以上にわたり、スポーツの普及振興に尽力し、顕著な功績が認められた方。

推薦団体：公益財団法人 青森県スポーツ協会

氏名	佐藤 英樹（さとう ひでき）
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、国民体育大会青森県チームの帯同ドクター、青森県内スポーツイベントでの会場ドクターを担当し、メディカルサポートおよび救護活動に従事してきた。特にアイスホッケー競技においては東北フリースタイルチームドクター、青森県アイスホッケー連盟スポーツ医科委員長として青森県の競技力向上に尽力した。また、U18日本チーム帯同ドクター、日本オリンピック委員会医・科学スタッフとして、中央競技団体でも要職に就くなど貢献を果たした。

推薦団体：公益財団法人 秋田県スポーツ協会

氏名	高濱 正人（たかはま まさと）
資格名	スポーツドクター
主な功績	1985年にスポーツドクター資格取得後、35年の永きにわたりスポーツ指導者の育成に携わると同時に、秋田県スポーツ医・科学の発展に貢献してきた。また、秋田県スポーツ協会医・科学委員をはじめ、国民体育大会秋田県チームの帯同ドクターとして、秋田県のアスリートをサポートしてきた功績は誠に顕著である。
氏名	柳澤 宗（やなぎさわ しゅう）
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、スポーツドクターとして、秋田県スポーツ選手へのメディカルチェックや医学的なアドバイス等、スポーツ障害予防に努め、スポーツ医・科学サポートに尽力した。また、秋田県スポーツ協会医・科学委員や国民体育大会秋田県チームの帯同ドクターとして、秋田県の競技力向上に大きく貢献した。

推薦団体：公益財団法人 山形県スポーツ協会

氏名	大沼 寧（おおぬま やすし）
資格名	スポーツドクター
主な功績	2005年から永年にわたり、スポーツドクターとして山形県のスポーツ医・科学の発展に寄与した。特に、地域のスポーツ傷害に対する治療に携わり、育成年代から中高年のスポーツ愛好家、アマチュア選手からプロ選手まで、幅広い年代や技能レベル選手を数多くサポートしてきた。また、2005年からモンテディオ山形のチームドクターを務め、2回のJ1昇格に貢献した。山形県スポーツ界、特にサッカー競技界へ果たした功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 群馬県スポーツ協会

氏名	真下 透（ましも とおる）
資格名	スポーツドクター
主な功績	2000年から群馬県スポーツ協会の県民体力づくり相談事業のメディカルチェック、スポーツ医事相談事業等の事業に積極的に協力し、群馬県スポーツ選手の競技力向上に寄与している。また、スポーツドクター協議会員として、群馬県のスポーツ界発展のために貢献している。
氏名	犬塚 守人（いぬづか もりと）
資格名	スポーツドクター
主な功績	1999年から群馬県スポーツ協会の県民体力づくり相談事業のメディカルチェック、スポーツ医事相談事業等の事業に積極的に協力し、群馬県スポーツ選手の競技力向上に寄与している。また、スポーツドクター協議会員として、群馬県のスポーツ界発展のために貢献している。

推薦団体：公益財団法人 石川県体育協会

氏名	菊地 修一（きくち しゅういち）
資格名	スポーツドクター
主な功績	石川県サッカー協会において、理事（医学委員長）、専務理事をはじめとした要職を歴任し、協会発展に貢献した。また、北信越サッカー協会においては、医学委員長、常務理事など永年にわたり理事として協会発展に貢献した。特に、医学委員会の基盤強化や連携強化に尽力した。

推薦団体：公益財団法人 静岡県スポーツ協会

氏名	三神 美久（みかみ よしひさ）
資格名	スポーツドクター
主な功績	1995年にスポーツドクター資格を取得し、2017年から静岡県スポーツドクター協議会の副会長として協議会運営に携わる。静岡学園サッカー部チームドクター、清水エスパルス内科ドクターとして、選手へのケア、アドバイスを行った。また、清水サッカー協会の医・科学副委員長として、専門的立場から細やかなサポートをしている。その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 愛知県スポーツ協会

氏名	藤井 登至央（ふじい としちか）
資格名	スポーツドクター
主な功績	日本クレ射撃協会の推薦によりスポーツドクターの資格を取得し、クレ射撃競技会等で会場ドクターとして活躍するとともに、30年以上にわたりスポーツドクター愛知県連絡協議会の活動を支援するなど愛知県内のスポーツにおける功績は大きい。
氏名	長野 哲也（ながの てつや）
資格名	スポーツドクター
主な功績	自身の医院を開業するとほぼ同時期にスポーツドクターの資格を取得し、スポーツドクター愛知県連絡協議会に入会後、30年以上協議会の活動を支援してきた。また、地域に密着してスポーツ障害に向き合いながら、Jリーグチームにおいてドーピングドクターを務めるなど愛知県内のスポーツにおける功績は大きい。

推薦団体：公益財団法人 岐阜県スポーツ協会

氏名	船橋 建司（ふなはし けんじ）
資格名	スポーツドクター
主な功績	1990年以来、岐阜県スポーツドクター協議会の会員および理事として永年、岐阜県におけるスポーツ医学の振興に努め、選手の健康管理、障害の予防と治療に貢献した。特にボクシング競技に関しては岐阜県ボクシング連盟医事委員として現場における傷害の対処にあたり、安全に競技力を向上させることに大きく寄与した。これらによって第67回国民体育大会（岐阜県）において岐阜県に天皇杯・皇后杯の獲得をもたらした功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 滋賀県スポーツ協会

氏名	村上 元庸（むらかみ もとつね）
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、滋賀県バレーボール協会参事を務め、バレーボール競技における医務活動に力を注いだ。また、滋賀県体育協会（現スポーツ協会）や滋賀県競技力向上対策本部では、スポーツドクター委員会副委員長などを歴任、これまで国民体育大会の帯同ドクターなど多岐にわたって活躍した。日本整形外科スポーツ医学会や日本臨床スポーツ医学会で代議員としても貢献しており、全国的なスポーツ活動への功績は誠に顕著である。
氏名	坂井田 稔（さかいだ みのる）
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、滋賀県カヌー協会理事や滋賀県ソフトテニス連盟参与などを務め、スポーツの医務活動に携わってきた。また、滋賀県体育協会（現スポーツ協会）や滋賀県競技力向上対策本部では、スポーツドクター委員会副委員長などを歴任した。全国的なスポーツ活動への功績も目覚ましいものがあり、日本カヌー連盟医科学委員会委員長や日本オリンピック委員会カヌー競技オリンピック強化スタッフなど、その活躍は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 福岡県スポーツ協会

氏名	前田 朗（まえだ あきら）
資格名	スポーツドクター
主な功績	スポーツドクターの資格取得後、スポーツの現場で医務の活動に従事し、2006年より国民体育大会福岡県選手団のチームドクターとして尽力している。また、日本で開催されたラグビーワールドカップ2019のマッチドクターや2021年に開催された東京2020オリンピック競技大会でも7人制ラグビーのマッチドクターを務め、日本代表の活躍に大きく貢献した。大会等への医療従事にも積極的に参加しており、今後も活躍が期待される。

推薦団体：公益財団法人 長崎県スポーツ協会

氏名	村上 謹士郎（むらかみ きんしろう）
資格名	スポーツドクター
主な功績	スポーツドクター資格取得後から、長崎県ハンドボール協会大会サポートとして、県・市大会会場において、医師、看護師の配置や、選手・観客の対応など永年にわたり活動しており、大会成功に貢献している。今後更なる活躍が期待される。

推薦団体：公益財団法人 熊本県スポーツ協会

氏名	二口 稔（ふたくち みのる）
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、熊本市テニス協会会長および熊本県テニス協会強化部長・理事長・会長として、会の健全な運営に尽力するとともに、各種スポーツ大会のスポーツドクターとして参加者の安全管理等に携わり、地域のスポーツの振興ならびに推進に貢献した。

推薦団体：公益財団法人 鹿児島県スポーツ協会

氏名	安藤 五三生（あんどう いさお）
資格名	スポーツドクター
主な功績	国民体育大会帯同ドクターとして選手のサポートに貢献してきた。現在、鹿児島県サッカー協会医学委員会事務局長として、同協会内での医・科学的な取り組みに尽力し、各種大会等でも会場ドクターとして運営に携わるなど同協会運営に携わり、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 沖縄県スポーツ協会

氏名	知念 弘（ちねん ひろし）
資格名	スポーツドクター
主な功績	1994年度に発足した沖縄県体育協会スポーツ医・科学委員会において、発足当初から永年にわたり委員としてスポーツ指導者の育成ならび組織の展開に貢献した。公認スポーツドクターとして、複数回にわたり国民体育大会帯同ドクターを務めたほか同大会参加選手のメディカルチェックを行うなど、その功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 日本サッカー協会

氏名	谷 諭（たに さとし）
資格名	スポーツドクター
主な功績	2006年9月から現在に至るまで15年にわたり、日本サッカー協会医学委員を務めている。特に脳神経外科医として、サッカーにおける脳振盪に対する指針の作成、競技中選手に脳振盪の疑いが生じた場合の対応方法を明確化し、脳振盪を発症した選手のプレー再開までの復帰プログラムの作成・普及・啓発活動を行った。

【表彰の基準 第5号】 1名

公認スポーツ指導者制度の確立及び発展などのために貢献し、顕著な功績があるとして当協会が特に認めた方。

推薦団体：公益財団法人 日本スポーツ協会

氏名	望月 浩一郎（もちづき こういちろう）
所属	パークス法律事務所
主な功績	永年にわたり、公認スポーツ指導者養成講習会講師（スポーツと法）として指導者の育成に貢献するとともに、指導者育成委員会処分審査会委員として暴力やハラスメント等を伴った反倫理的な指導の根絶に向けた各種対応や取り組みにおいて中心的な役割を果たしている。

次は私たちの時代 誓う、フェアプレイ



森山真稔 (26 歳 フライングディスク)



三木萌子 (21 歳 サッカー)



池田春子 (22 歳 水泳)



小山滉平 (20 歳 ローラースケート)



山内康輔 (21 歳 バレーボール)



中島理沙 (21 歳 なぎなた)

「フェアプレー」って、空気のように当たり前のようで、改めて考えてみると、わかっていないものかも…
そんなフェアプレーを、JSPPO (日本スポーツ協会) は考え続け、さまざまな取組を行っています。
日本の未来を担う若者がフェアプレーをとことん考える「フェアプレイ会議」もそのひとつ。
フェアプレーを考えている JSPPO も、スポーツを楽しむ皆さんにとっては
空気のような存在なのかもしれません。
それでも、JSPPO はあなたのスポーツを確かにサポートしています。
あなたのフェアプレイ宣言で、ともに望む未来へ。



WEB でフェアプレイ宣言募集中

フェアプレイ宣言

検索

2019.04 時点

SPORT
JSPO OFFICIAL LICENSE